

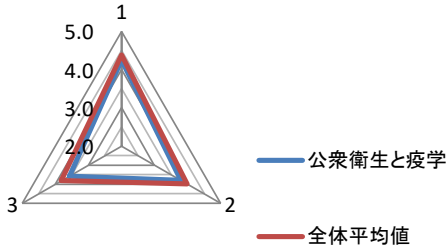
平成30年度第3学年前期「公衆衛生と疫学」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
97	84	87%

実施時期(平成30年5月17日～平成30年7月27日)

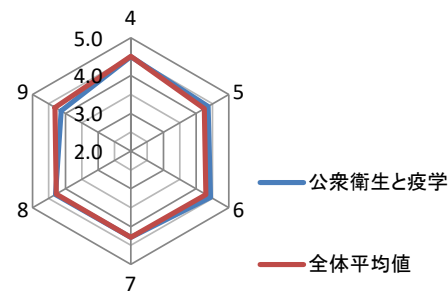
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	公衆衛生と疫学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.3	4.4	3.9	4.7
2 予習と復習を積極的に行った。	3.8	4.0	3.5	4.3
3 教員に授業内容について質問した	3.6	3.8	3.3	4.1

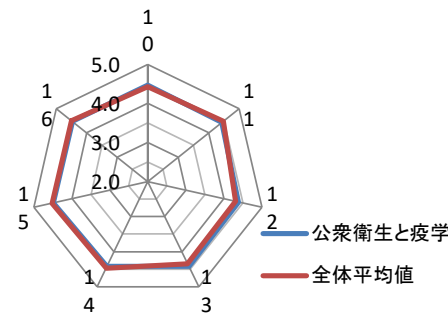
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	公衆衛生と疫学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.5	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.4	4.2	3.7	4.8
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.4	4.3	3.9	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.3	3.7	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.3	4.3	3.7	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.1	4.3	4.0	4.7

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	公衆衛生と疫学	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.4	4.0	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.4	4.5	4.0	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.3	3.7	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.3	3.9	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.4	4.5	4.1	4.7
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.5	4.5	4.1	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.5	4.5	4.2	4.8

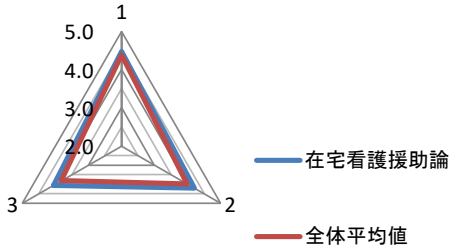
平成30年度第3学年前期「在宅看護援助論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	92	96%

実施時期(平成30年5月17日～平成30年7月27日)

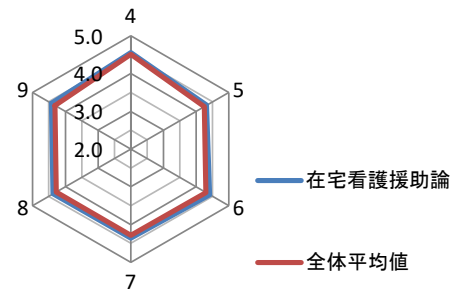
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	在宅看護援助論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.4	3.9	4.7
2 予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.0	3.5	4.3
3 教員に授業内容について質問した	4.1	3.8	3.3	4.1

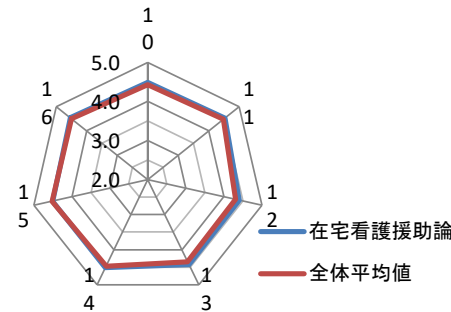
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	在宅看護援助論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.5	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.3	4.2	3.7	4.8
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.4	4.3	3.9	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.3	3.7	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.3	3.7	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.3	4.0	4.7

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	在宅看護援助論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.4	4.0	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.5	4.5	4.0	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.3	3.7	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.4	4.3	3.9	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.5	4.5	4.1	4.7
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.5	4.5	4.1	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.5	4.5	4.2	4.8

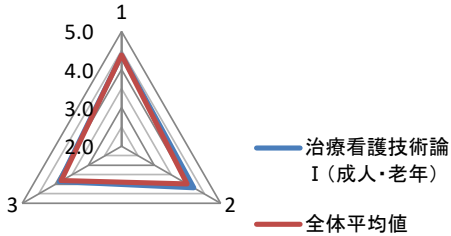
平成30年度第3学年前期「治療看護技術論 I (成人・老年)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	86	90%

実施時期(平成30年5月17日～平成30年7月27日)

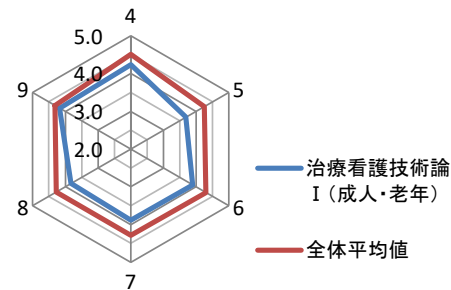
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	治療看護技術論 I (成人・老年)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.4	4.4	3.9	4.7
2 予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.0	3.5	4.3
3 教員に授業内容について質問した	3.9	3.8	3.3	4.1

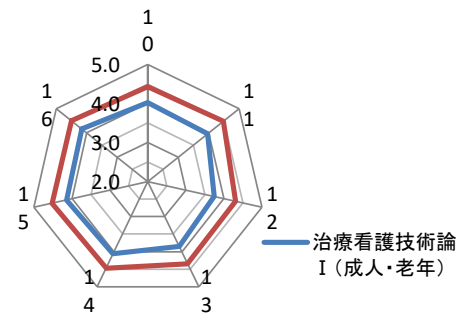
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	治療看護技術論 I (成人・老年)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.2	4.5	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.7	4.2	3.7	4.8
6 授業の内容はレベルが適切であった。	3.9	4.3	3.9	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	3.9	4.3	3.7	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	3.8	4.3	3.7	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.2	4.3	4.0	4.7

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	治療看護技術論 I (成人・老年)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.0	4.4	4.0	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.0	4.5	4.0	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	3.7	4.3	3.7	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	3.9	4.3	3.9	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.1	4.5	4.1	4.7
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.1	4.5	4.1	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.2	4.5	4.2	4.8

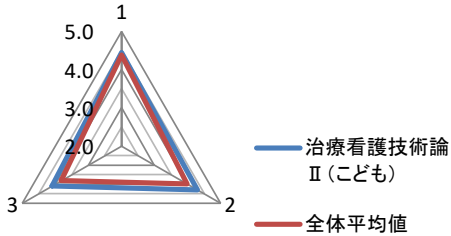
平成30年度第3学年前期「治療看護技術論Ⅱ(こども)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	80	83%

実施時期(平成30年5月17日～平成30年7月27日)

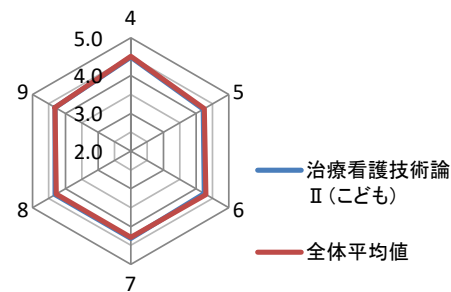
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	治療看護技術論Ⅱ(こども)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.4	3.9	4.7
2 予習と復習を積極的に行った。	4.3	4.0	3.5	4.3
3 教員に授業内容について質問した	4.1	3.8	3.3	4.1

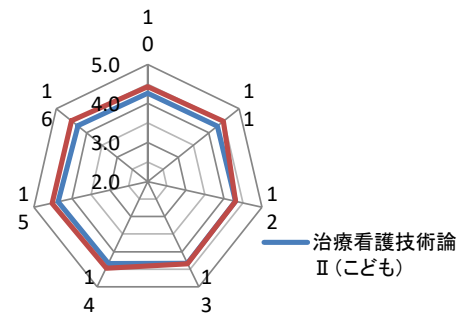
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	治療看護技術論Ⅱ(こども)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.5	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.2	4.2	3.7	4.8
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.3	4.3	3.9	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.3	3.7	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.3	4.3	3.7	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.3	4.0	4.7

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	治療看護技術論Ⅱ(こども)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.3	4.4	4.0	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.3	4.5	4.0	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.3	3.7	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.3	3.9	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.3	4.5	4.1	4.7
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.4	4.5	4.1	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.3	4.5	4.2	4.8

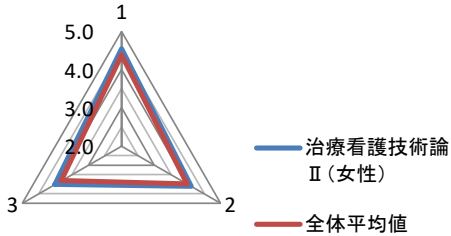
平成30年度第3学年前期「治療看護技術論Ⅱ(女性)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	92	96%

実施時期(平成30年5月17日～平成30年7月27日)

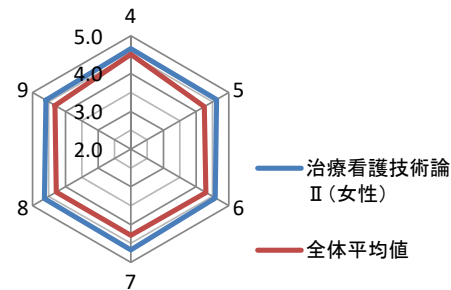
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	治療看護技術論Ⅱ(女性)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.4	3.9	4.7
2 予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.0	3.5	4.3
3 教員に授業内容について質問した	4.0	3.8	3.3	4.1

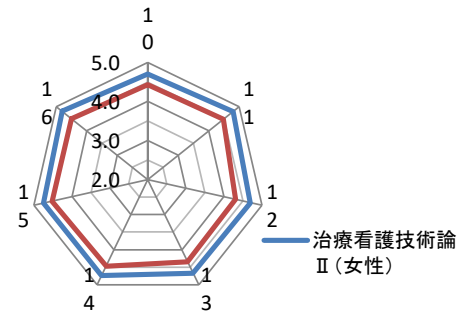
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	治療看護技術論Ⅱ(女性)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.7	4.5	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.6	4.2	3.7	4.8
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.6	4.3	3.9	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.7	4.3	3.7	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.6	4.3	3.7	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.6	4.3	4.0	4.7

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	治療看護技術論Ⅱ(女性)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.7	4.4	4.0	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.8	4.5	4.0	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.3	3.7	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.7	4.3	3.9	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.7	4.5	4.1	4.7
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.7	4.5	4.1	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.8	4.5	4.2	4.8

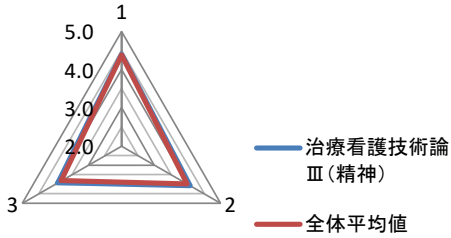
平成30年度第3学年前期「治療看護技術論Ⅲ(精神)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	89	93%

実施時期(平成30年5月17日～平成30年7月27日)

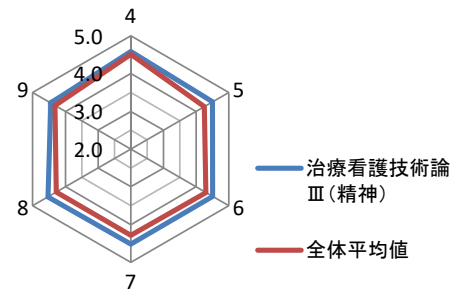
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	治療看護技術論Ⅲ(精神)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.4	4.4	3.9	4.7
2 予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.0	3.5	4.3
3 教員に授業内容について質問した	3.9	3.8	3.3	4.1

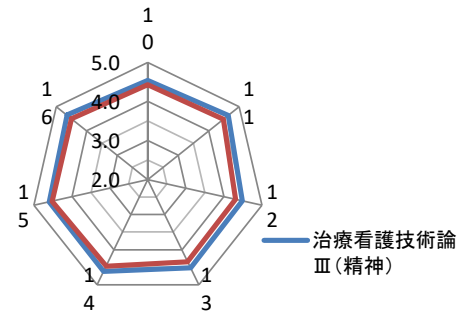
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	治療看護技術論Ⅲ(精神)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.6	4.5	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.5	4.2	3.7	4.8
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.5	4.3	3.9	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.5	4.3	3.7	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.5	4.3	3.7	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.3	4.0	4.7

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	治療看護技術論Ⅲ(精神)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.5	4.4	4.0	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.6	4.5	4.0	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.3	3.7	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.5	4.3	3.9	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.6	4.5	4.1	4.7
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.6	4.5	4.1	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.7	4.5	4.2	4.8

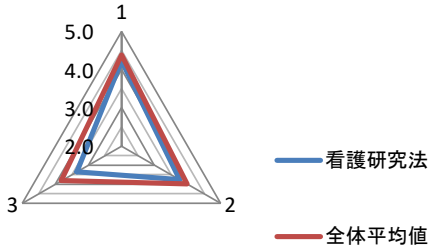
平成30年度第3学年前期「看護研究法」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	92	96%

実施時期(平成30年5月17日～平成30年7月27日)

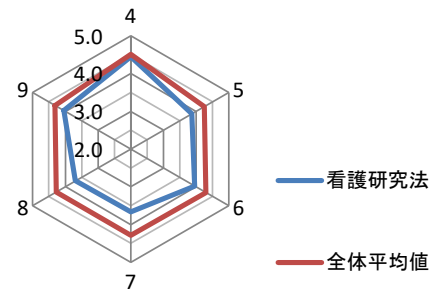
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	看護研究法	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.2	4.4	3.9	4.7
2 予習と復習を積極的に行った。	3.8	4.0	3.5	4.3
3 教員に授業内容について質問した	3.3	3.8	3.3	4.1

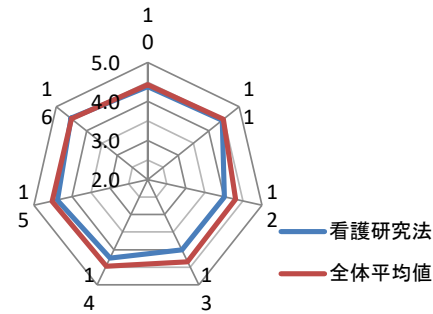
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	看護研究法	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.4	4.5	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	3.9	4.2	3.7	4.8
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.0	4.3	3.9	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	3.7	4.3	3.7	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	3.7	4.3	3.7	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.0	4.3	4.0	4.7

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	看護研究法	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.4	4.0	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.4	4.5	4.0	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.3	3.7	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.3	3.9	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.2	4.5	4.1	4.7
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.4	4.5	4.1	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.5	4.5	4.2	4.8

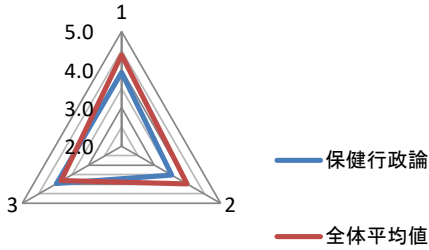
平成30年度第3学年前期「保健行政論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
27	26	96%

実施時期(平成30年5月17日～平成30年7月27日)

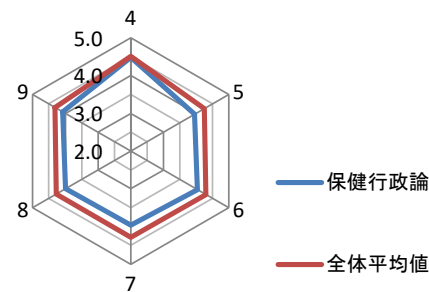
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	保健行政論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	3.9	4.4	3.9	4.7
2 予習と復習を積極的に行った。	3.5	4.0	3.5	4.3
3 教員に授業内容について質問した	4.0	3.8	3.3	4.1

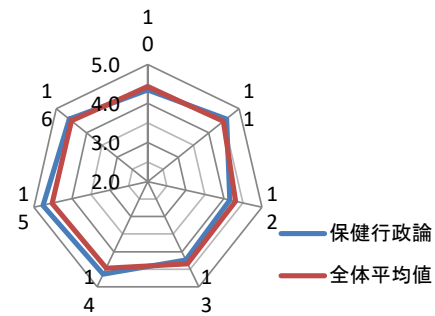
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	保健行政論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.5	4.5	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.0	4.2	3.7	4.8
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.0	4.3	3.9	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.0	4.3	3.7	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.0	4.3	3.7	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.1	4.3	4.0	4.7

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	保健行政論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.3	4.4	4.0	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.6	4.5	4.0	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.3	3.7	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.3	3.9	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.6	4.5	4.1	4.7
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.8	4.5	4.1	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.5	4.2	4.8

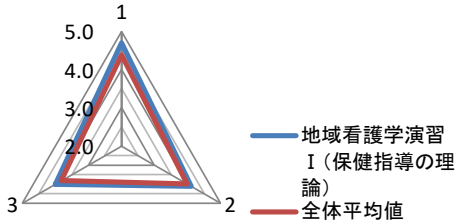
平成30年度第3学年前期「地域看護学演習 I (保健指導の理論)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
27	27	100%

実施時期(平成30年5月17日～平成30年7月27日)

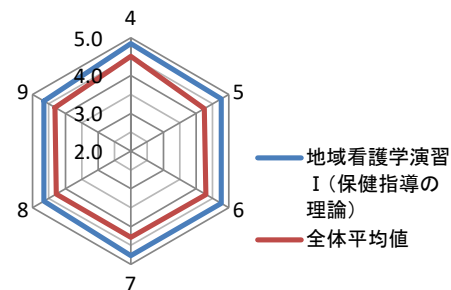
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	地域看護学演習 I (保健指導の理論)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.7	4.4	3.9	4.7
2 予習と復習を積極的に行った。	4.1	4.0	3.5	4.3
3 教員に授業内容について質問した	4.0	3.8	3.3	4.1

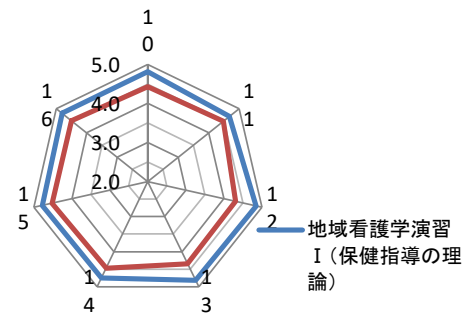
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	地域看護学演習 I (保健指導の理論)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.8	4.5	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.8	4.2	3.7	4.8
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.8	4.3	3.9	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.8	4.3	3.7	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.7	4.3	3.7	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.7	4.3	4.0	4.7

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	地域看護学演習 I (保健指導の理論)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や音量は適切であった。	4.8	4.4	4.0	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.7	4.5	4.0	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.3	3.7	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.8	4.3	3.9	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.7	4.5	4.1	4.7
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.8	4.5	4.1	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.8	4.5	4.2	4.8

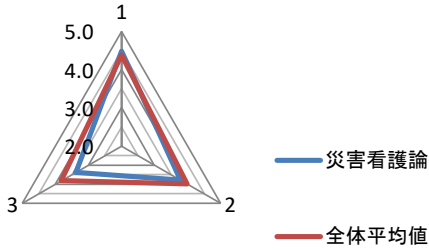
平成30年度第3学年前期「災害看護論」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
102	93	91%

実施時期(平成30年5月17日～平成30年7月27日)

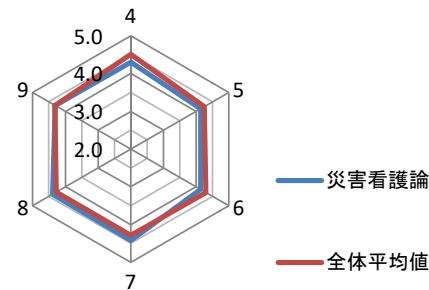
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	災害看護論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.4	3.9	4.7
2 予習と復習を積極的に行った。	3.8	4.0	3.5	4.3
3 教員に授業内容について質問した	3.4	3.8	3.3	4.1

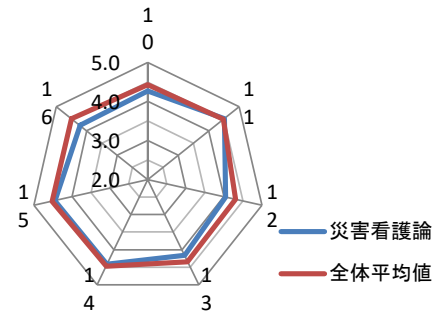
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	災害看護論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.3	4.5	4.2	4.8
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.1	4.2	3.7	4.8
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.1	4.3	3.9	4.8
7 授業内容に興味を持てた。	4.4	4.3	3.7	4.8
8 知的好奇心が刺激された。	4.4	4.3	3.7	4.7
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.3	4.3	4.0	4.7

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	災害看護論	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.3	4.4	4.0	4.8
11 教員の熱意が伝わった。	4.5	4.5	4.0	4.8
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.3	3.7	4.8
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.2	4.3	3.9	4.8
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.4	4.5	4.1	4.7
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.4	4.5	4.1	4.8
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.2	4.5	4.2	4.8

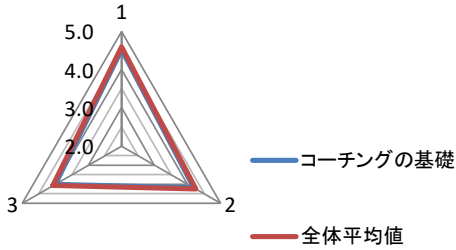
平成30年度第3学年通年「コーチングの基礎」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	53	55%

実施時期(平成30年10月5日～平成31年2月1日)

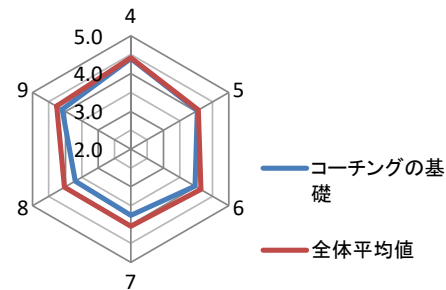
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	コーチングの基礎	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.5	4.6	4.5	4.7
2 予習と復習を積極的に行った。	4.2	4.3	4.2	4.3
3 教員に授業内容について質問した	4.0	4.1	4.0	4.2

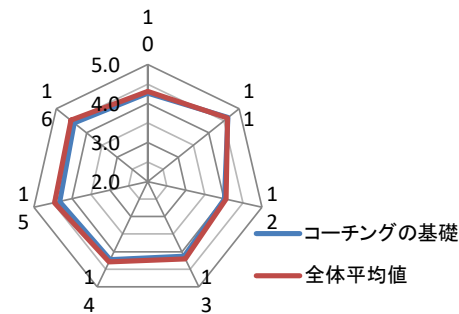
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	コーチングの基礎	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.4	4.4	4.4	4.4
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.0	4.1	4.0	4.1
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.0	4.1	4.0	4.3
7 授業内容に興味を持てた。	3.8	4.0	3.8	4.3
8 知的好奇心が刺激された。	3.7	4.0	3.7	4.3
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.1	4.3	4.1	4.4

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	コーチングの基礎	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.3	4.3	4.3	4.4
11 教員の熱意が伝わった。	4.6	4.6	4.6	4.6
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.0	4.1	4.0	4.1
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.1	4.2	4.1	4.3
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.2	4.3	4.2	4.4
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.3	4.5	4.3	4.6
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.4	4.5	4.4	4.6

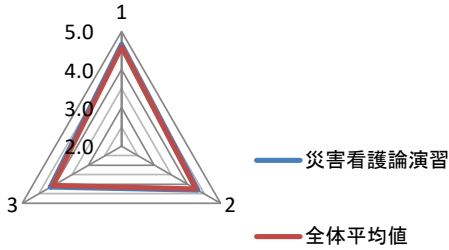
平成30年度第3学年後期「災害看護論演習」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	93	97%

実施時期(平成30年10月5日～平成31年2月1日)

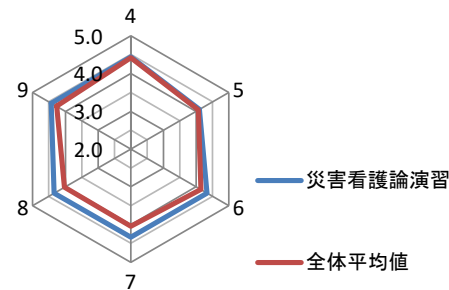
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の授業への取り組みについて

	災害看護論演習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
1 授業に積極的に参加した。	4.7	4.6	4.5	4.7
2 予習と復習を積極的に行った。	4.3	4.3	4.2	4.3
3 教員に授業内容について質問した	4.2	4.1	4.0	4.2

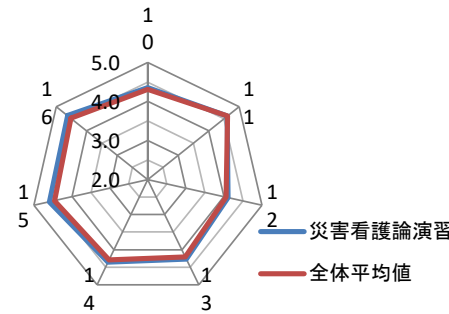
問2. 授業内容について



問2. 授業内容について

	災害看護論演習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
4 シラバスに沿った授業がされた。	4.4	4.4	4.4	4.4
5 授業の内容は分かりやすかった。	4.1	4.1	4.0	4.1
6 授業の内容はレベルが適切であった。	4.3	4.1	4.0	4.3
7 授業内容に興味を持てた。	4.3	4.0	3.8	4.3
8 知的好奇心が刺激された。	4.3	4.0	3.7	4.3
9 自分で考えたり学んだりする力が身についた。	4.4	4.3	4.1	4.4

問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について



問3. 教員の授業に対する姿勢及び授業方法について

	災害看護論演習	全体平均値	全科目 最小値	全科目 最大値
10 教員の話す速度や声量は適切であった。	4.4	4.3	4.3	4.4
11 教員の熱意が伝わった。	4.6	4.6	4.6	4.6
12 教科書、参考書、プリントなどの配布資料の使い方及び内容が適切であった。	4.1	4.1	4.0	4.1
13 スライド、ホワイトボードやDVDなどの視聴覚装置の使い方及び内容が適切であった。	4.3	4.2	4.1	4.3
14 教員は質問の機会を設け適切に答えた。	4.4	4.3	4.2	4.4
15 学生が授業に集中できるように教員は教室の秩序を保っていた。	4.6	4.5	4.3	4.6
16 授業開始・終了時刻を守っていた。	4.6	4.5	4.4	4.6

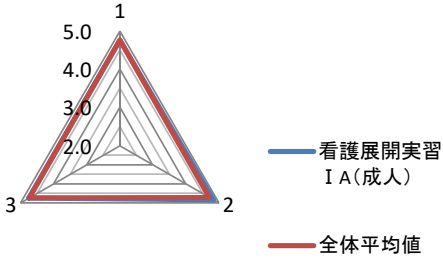
平成30年度第3学年後期「看護展開実習 I A(成人)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	93	97%

実施時期(平成30年10月5日～平成31年2月1日)

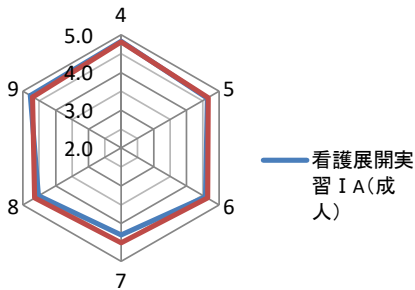
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の実習への取り組みについて

	看護展開実習 I A(成人)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ。	4.8	4.8	4.7	4.8
2 予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.7	4.6	4.8
3 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.8	4.7	4.7	4.8

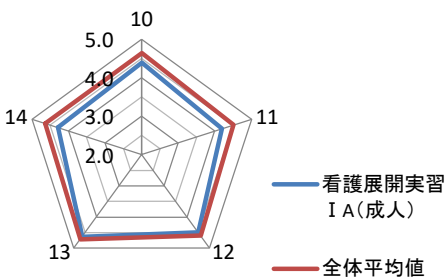
問2. 実習内容について



問2. 実習内容について

	看護展開実習 I A(成人)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 学習目標を達成するために多くの学習体験が得られた。	4.8	4.8	4.7	4.9
5 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.6	4.7	4.6	4.8
6 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	4.6	4.6	4.5	4.8
7 課された実習記憶や課題の量は適切であった。	4.3	4.5	4.3	4.8
8 看護への興味や関心が高まった。	4.5	4.6	4.5	4.8
9 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を修得できた。	4.8	4.7	4.5	4.8

問3. 指導体制・学習環境について



問3. 指導体制・学習環境について

	看護展開実習 I A(成人)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.4	4.6	4.4	4.8
11 教員と実習施設の連携がとれていたため実習がやりやすかった。	4.2	4.5	4.2	4.7
12 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.5	4.6	4.5	4.7
13 安全に対する適切な指導と配慮がなされていた。	4.6	4.7	4.6	4.8
14 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が利用できるスペースは配慮されていた。	4.3	4.6	4.3	4.8

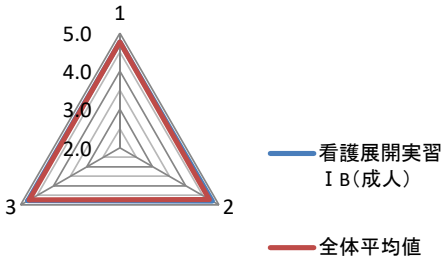
平成30年度第3学年後期「看護展開実習 I B(成人)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
96	91	95%

実施時期(平成30年10月5日～平成31年2月1日)

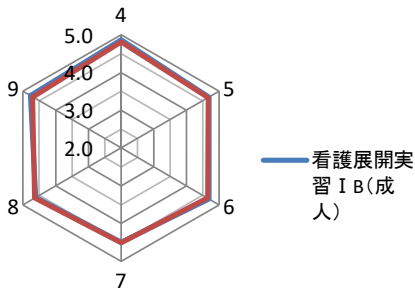
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の実習への取り組みについて

	看護展開実習 I B(成人)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ。	4.8	4.8	4.7	4.8
2 予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.7	4.6	4.8
3 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.8	4.7	4.7	4.8

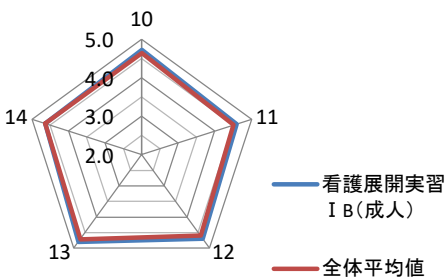
問2. 実習内容について



問2. 実習内容について

	看護展開実習 I B(成人)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 学習目標を達成するために多くの学習体験が得られた。	4.9	4.8	4.7	4.9
5 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.7	4.7	4.6	4.8
6 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	4.7	4.6	4.5	4.8
7 課された実習記憶や課題の量は適切であった。	4.5	4.5	4.3	4.8
8 看護への興味や関心が高まった。	4.6	4.6	4.5	4.8
9 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を修得できた。	4.8	4.7	4.5	4.8

問3. 指導体制・学習環境について



問3. 指導体制・学習環境について

	看護展開実習 I B(成人)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.7	4.6	4.4	4.8
11 教員と実習施設の連携がとれていたため実習がやりやすかった。	4.6	4.5	4.2	4.7
12 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.7	4.6	4.5	4.7
13 安全に対する適切な指導と配慮がなされていた。	4.8	4.7	4.6	4.8
14 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が利用できるスペースは配慮されていた。	4.6	4.6	4.3	4.8

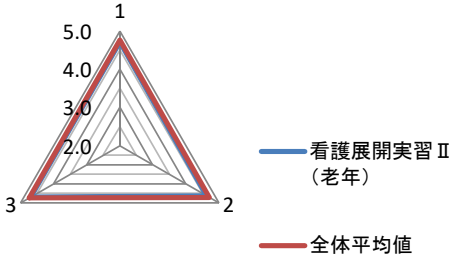
平成30年度第3学年後期「看護展開実習Ⅱ(老年)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	91	96%

実施時期(平成30年10月5日～平成31年2月1日)

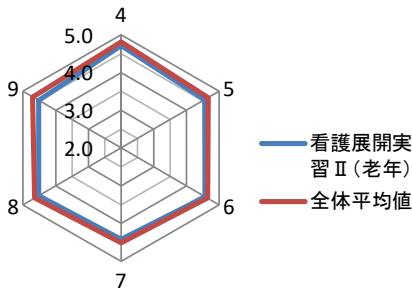
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の実習への取り組みについて

	看護展開実習Ⅱ(老年)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ。	4.7	4.8	4.7	4.8
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.7	4.6	4.8
3 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.7	4.7	4.7	4.8

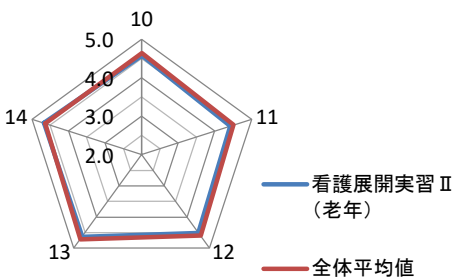
問2. 実習内容について



問2. 実習内容について

	看護展開実習Ⅱ(老年)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 学習目標を達成するために多くの学習体験が得られた。	4.7	4.8	4.7	4.9
5 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.6	4.7	4.6	4.8
6 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	4.6	4.6	4.5	4.8
7 課された実習記憶や課題の量は適切であった。	4.4	4.5	4.3	4.8
8 看護への興味や関心が高まった。	4.5	4.6	4.5	4.8
9 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を修得できた。	4.5	4.7	4.5	4.8

問3. 指導体制・学習環境について



問3. 指導体制・学習環境について

	看護展開実習Ⅱ(老年)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.6	4.6	4.4	4.8
11 教員と実習施設の連携がとれていたため実習がやりやすかった。	4.4	4.5	4.2	4.7
12 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.5	4.6	4.5	4.7
13 安全に対する適切な指導と配慮がなされていた。	4.6	4.7	4.6	4.8
14 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が利用できるスペースは配慮されていた。	4.7	4.6	4.3	4.8

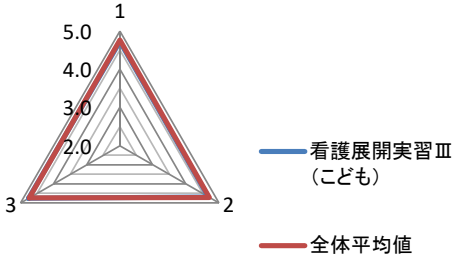
平成30年度第3学年後期「看護展開実習Ⅲ(こども)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	91	96%

実施時期(平成30年10月5日～平成31年2月1日)

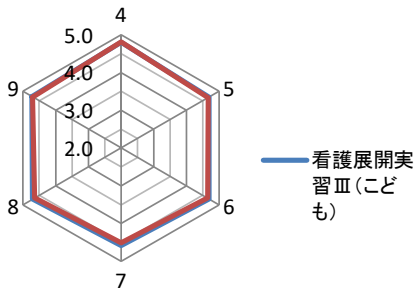
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の実習への取り組みについて

	看護展開実習Ⅲ(こども)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ。	4.7	4.8	4.7	4.8
2 予習と復習を積極的に行った。	4.7	4.7	4.6	4.8
3 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.8	4.7	4.7	4.8

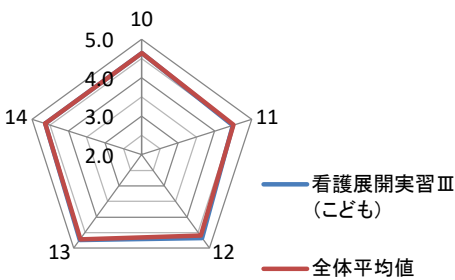
問2. 実習内容について



問2. 実習内容について

	看護展開実習Ⅲ(こども)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 学習目標を達成するために多くの学習体験が得られた。	4.8	4.8	4.7	4.9
5 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.7	4.7	4.6	4.8
6 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	4.7	4.6	4.5	4.8
7 課された実習記憶や課題の量は適切であった。	4.6	4.5	4.3	4.8
8 看護への興味や関心が高まった。	4.7	4.6	4.5	4.8
9 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を修得できた。	4.7	4.7	4.5	4.8

問3. 指導体制・学習環境について



問3. 指導体制・学習環境について

	看護展開実習Ⅲ(こども)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.6	4.6	4.4	4.8
11 教員と実習施設の連携がとれていたため実習がやりやすかった。	4.5	4.5	4.2	4.7
12 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.7	4.6	4.5	4.7
13 安全に対する適切な指導と配慮がなされていた。	4.7	4.7	4.6	4.8
14 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が利用できるスペースは配慮されていた。	4.6	4.6	4.3	4.8

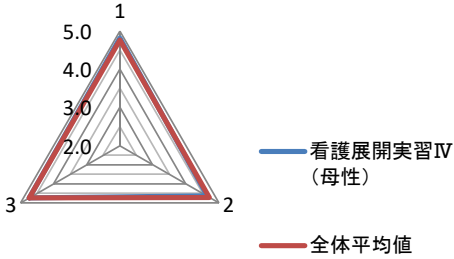
平成30年度第3学年後期「看護展開実習Ⅳ(母性)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	88	93%

実施時期(平成30年10月5日～平成31年2月1日)

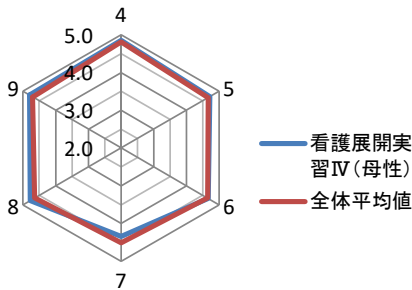
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の実習への取り組みについて

	看護展開実習Ⅳ(母性)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ。	4.8	4.8	4.7	4.8
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.7	4.6	4.8
3 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.7	4.7	4.7	4.8

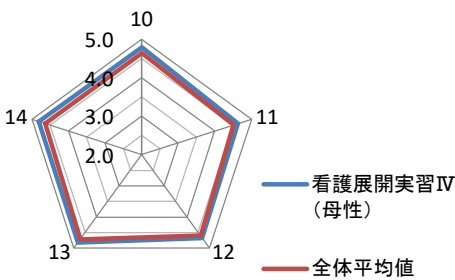
問2. 実習内容について



問2. 実習内容について

	看護展開実習Ⅳ(母性)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 学習目標を達成するために多くの学習体験が得られた。	4.9	4.8	4.7	4.9
5 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.7	4.7	4.6	4.8
6 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	4.7	4.6	4.5	4.8
7 課された実習記憶や課題の量は適切であった。	4.3	4.5	4.3	4.8
8 看護への興味や関心が高まった。	4.8	4.6	4.5	4.8
9 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を修得できた。	4.8	4.7	4.5	4.8

問3. 指導体制・学習環境について



問3. 指導体制・学習環境について

	看護展開実習Ⅳ(母性)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.8	4.6	4.4	4.8
11 教員と実習施設の連携がとれていたため実習がやりやすかった。	4.6	4.5	4.2	4.7
12 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.7	4.6	4.5	4.7
13 安全に対する適切な指導と配慮がなされていた。	4.8	4.7	4.6	4.8
14 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が利用できるスペースは配慮されていた。	4.8	4.6	4.3	4.8

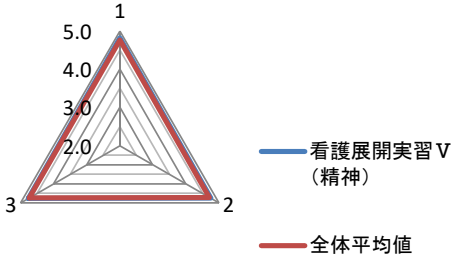
平成30年度第3学年後期「看護展開実習V(精神)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	90	95%

実施時期(平成30年10月5日～平成31年2月1日)

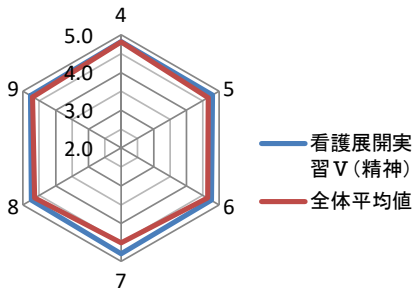
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の実習への取り組みについて

	看護展開実習V(精神)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ。	4.8	4.8	4.7	4.8
2 予習と復習を積極的に行った。	4.8	4.7	4.6	4.8
3 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.8	4.7	4.7	4.8

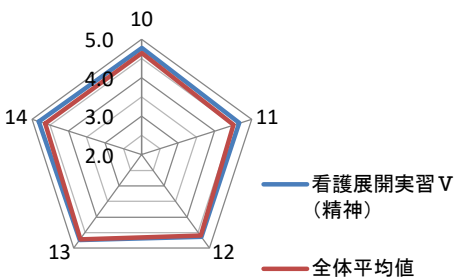
問2. 実習内容について



問2. 実習内容について

	看護展開実習V(精神)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 学習目標を達成するために多くの学習体験が得られた。	4.8	4.8	4.7	4.9
5 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.8	4.7	4.6	4.8
6 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	4.8	4.6	4.5	4.8
7 課された実習記憶や課題の量は適切であった。	4.8	4.5	4.3	4.8
8 看護への興味や関心が高まった。	4.7	4.6	4.5	4.8
9 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を修得できた。	4.8	4.7	4.5	4.8

問3. 指導体制・学習環境について



問3. 指導体制・学習環境について

	看護展開実習V(精神)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.8	4.6	4.4	4.8
11 教員と実習施設の連携がとれていたため実習がやりやすかった。	4.7	4.5	4.2	4.7
12 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.6	4.6	4.5	4.7
13 安全に対する適切な指導と配慮がなされていた。	4.7	4.7	4.6	4.8
14 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が利用できるスペースは配慮されていた。	4.8	4.6	4.3	4.8

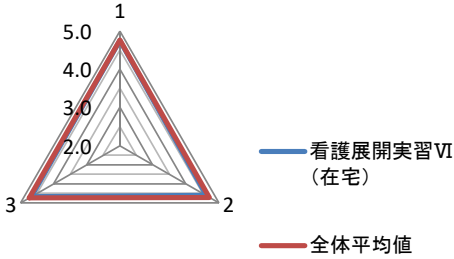
平成30年度第3学年後期「看護展開実習VI(在宅)」授業評価結果

1=まったく思わない 2=あまり思わない 3=どちらとも言えない 4=だいたいそう思う 5=そう思う

履修者数	回答者数	回答率
95	89	94%

実施時期(平成30年10月5日～平成31年2月1日)

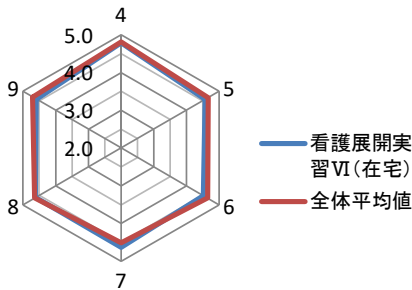
問1. 学生自身の授業への取り組みについて



問1. 学生自身の実習への取り組みについて

	看護展開実習VI(在宅)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
1 体調管理を行い実習に主体的に取り組んだ。	4.8	4.8	4.7	4.8
2 予習と復習を積極的に行った。	4.6	4.7	4.6	4.8
3 教員や実習指導者に分からないことや困ったことについて積極的に質問や相談をした。	4.7	4.7	4.7	4.8

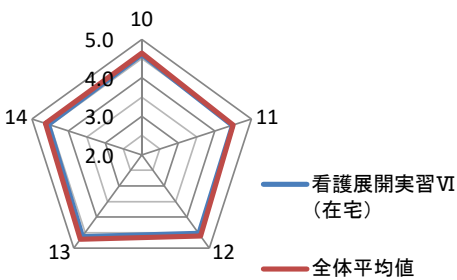
問2. 実習内容について



問2. 実習内容について

	看護展開実習VI(在宅)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
4 学習目標を達成するために多くの学習体験が得られた。	4.8	4.8	4.7	4.9
5 カンファレンスは学習の共有や学びを深める上で効果的であった。	4.6	4.7	4.6	4.8
6 実習記録は学習を深める上で効果的であった。	4.5	4.6	4.5	4.8
7 課された実習記憶や課題の量は適切であった。	4.6	4.5	4.3	4.8
8 看護への興味や関心が高まった。	4.6	4.6	4.5	4.8
9 看護実践を行う上で必要となる知識・技能・態度を修得できた。	4.6	4.7	4.5	4.8

問3. 指導体制・学習環境について



問3. 指導体制・学習環境について

	看護展開実習VI(在宅)	全体平均値	全科目最小値	全科目最大値
10 教員の助言は学習を進める上で役立った。	4.6	4.6	4.4	4.8
11 教員と実習施設の連携がとれていたため実習がやりやすかった。	4.5	4.5	4.2	4.7
12 実習に必要な資料や情報が入手できた。	4.5	4.6	4.5	4.7
13 安全に対する適切な指導と配慮がなされていた。	4.6	4.7	4.6	4.8
14 カンファレンスや記録の場・休憩室など、学生が利用できるスペースは配慮されていた。	4.6	4.6	4.3	4.8